

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員控室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



市長室にて...

日本共産党議員団は11月30日、住民から寄せられた様々な要求や提言197項目を、「2011年度予算要求書」としてまとめて提出。市長、企画財政部長と中央北地区開発への税金投入のあり方や川西病院の存続・拡充を求めて懇談しました。

市民の願い実り 市が助成

2月から子宮頸がん・肺炎ワクチン 就学前まで子どもの医療費無料化は来年度

市議会選挙後初めての12月議会では、公約に掲げた「就学前までのこどもの医療費無料化」や「子宮頸がん予防ワクチン、肺炎球菌ワクチン接種の公費助成」、「中学校給食の実施」、「中学校建設と交通費助成」、「市立川西病院の存続・拡充」、「住宅リフォーム助成制度の創設」、「能勢電鉄バリアフリー未実施駅の整備」などを求め、一般質問を行いました。

公約実現へ討論

私(黒田)の質問に対して市当局は、「就学前までのこどもの医療費無料化」は

来年度から、「子宮頸がん、肺炎球菌ワクチン接種への補助」は今年度中に実施すると答弁。13日提出の補正予算に「子宮頸がん、肺炎球菌ワクチンへの補助(1月遡及)」が盛り込まれ、2月から始まることになりました。

子育てを応援する粘り強い保護者の運動と議会活動が運動し、着実に前進する

市議会選挙後初めての12月議会では私(黒田)は、公約に掲げた「就学前までのこどもの医療費無料化」や「子宮頸がん予防ワクチン、肺炎球菌ワクチン接種の公費助成」、「中学校給食の実施」、「中学校建設と交通費助成」、「市立川西病院の存続・拡充」、「住宅リフォーム助成制度の創設」、「能勢電鉄バリアフリー未実施駅の整備」などを求め、一般質問を行いました。

対象を狭めるな!

ただ、補助の一方で、兵庫県行革(案)にそって所得制限を世帯合算にして補助の対象を狭めようとしているのは問題です。案では現行の受給者より約13%縮小する予定です。

私(黒田)は、安心の子育て応援施策として所得制限をなくすこと、兵庫県に

広がれ!命を守る取り組み

「こども署名85筆、いきいき署名98筆

市民の願いを署名に託して実現をと11月26日、地域後援会の方々や能勢電鉄、野田駅・コープ前で、「こども署名」と「いきいき署名」を行いました。「こども」は中学校まで医療費無料化、30人学級実現、保育所建設を、「いきいき」は75歳以上医療費無料化、74歳まで医療費1割負担、国保税の引き下げを兵庫県に求めるもの。とても暖かい陽差しの中、道行く人に私(黒田)



☆♪「あんただけやなあ、いろいろ報告に来るのは」(TPP問題と議会報告の宣伝中に)。☆♪「大和東2丁目と5丁目付近のポスト設置、楽しみにしています」。☆♪「東谷公民館の洋式トイレ設置工事の入札が年明けに。いよいよ工事です(´ー´)」

声 声 声 & お 知 ら せ

くろまめの声

「市立ふたば幼稚園の廃園を見直してほしい」という請願が12月議会に提出された。

保護者が突然の廃園を知ったのは、今年6月25日。8月16日に議会へ説明、翌17日に議案提出、9月2日委員会審査という超スピードで進められた。

9月議会では「なぜ、加茂幼稚園の3歳児保育と引き換えに「なぜ、1クラス15人が必要か」「幼稚園の活性化がなぜ、廃園なのか?」「通園が遠くなることもへの不安」などの疑問や不安にこたえないまま、反対多数で、「廃園」を可決した議会。

それでも保護者は、10月選挙で選出された新しい議会に期待し、今回の「見直してほしい」という請願提出となった。

私は、紹介議員になって「趣旨説明」を行う予定だったが、「趣旨説明は却下」。委員会では、北野委員(日本共産党)が保護者の思いを代弁し意見を述べたものの、他の委員はほとんど意見すら述べず、請願不採択となった。

こどもを連れて傍聴に駆けつけた保護者の「私達の不安や願いを受け止め、十分協議してほしい」という願いは、21日の最終本会議にも届かないのだろうか。

地域の子育て拠点である「幼稚園」は有形無形の市民の財産。な

世界一危険な普天間基地は無条件撤去を!!



みんなが住んでよかつたと思える川西市に...

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざしてご意見・ご要望をお寄せください

2009年政治資金収支報告

政党助成金頼みここまで!!

民主8割 自民7割に

無駄をいうならこれ削れ

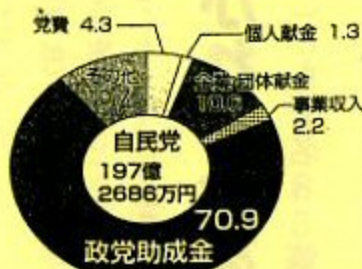
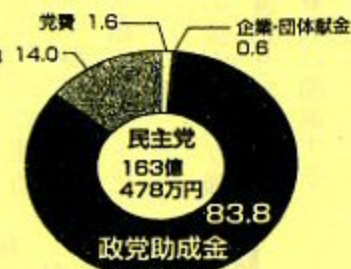
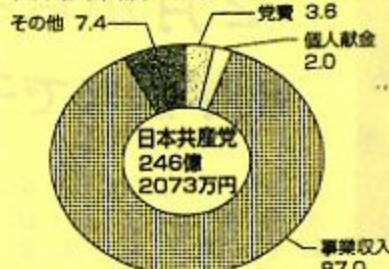
2009年の政治資金収支報告書が30日に公表され、同年の民主、自民両党の党本部収入のうち、民主党は83.8%、自民党は70.9%を税金である政党助成金に依存していることが明らかになりました。自民党の依存度は08年の51.4%から大幅アップし過去最高。「無駄遣いの根絶」(民主)、「無駄を徹底的になくす」(自民)と叫びながら政党助成金は聖域扱いし、苦勞せず政党財政を賄おうとする姿勢が問われます。

政党助成金は企業・団体献金廃止を口実に導入されましたが、09年に民主党は1億円、自民党は21億円の企業・団体献金を受け取っています。企業・団体献金を含めれば自民党の依存度は81.5%となります。

日本共産党は、企業・団体献金も政党助成金も受け取らず、党費と個人献金、「しんぶん赤旗」発行などの事業収入といった「浄財」に依拠する清潔な姿勢を貫いています。



各党(本部)の収入構成(%)



1995年～2010年7月までに各党の受け取った政党助成金額

自民党	2372億円
民主党	1259億円
公明党	368億円
社民党	319億円
その他	589億円

現在受け取っている政党	
国民新党	16.6億円
新党日本	8億円
みんなの党	3億円
改革クラブ→新党改革	1.4億円

過去に受け取った政党	
新進党(97年12月解散)	283億円
自由党(03年9月解散)	131億円
新党さきがけ(02年1月解散)	31.5億円
自由連合	21億円
民主改革連合(98年4月解散)	16億円
参議院クラブ→無所属の会(04年7月解散)	16億円
新党平和(98年11月解散)	15億円
※改革クラブ(02年に解散)	14.7億円
保守党→保守新党(05年11月解散)	14.6億円
民政党(98年4月解散)	13.8億円
第二党クラブ	3.8億円
新党友愛(98年4月解散)	3億円
太陽党(98年1月解散)	3億円
プロムファイブ(98年11月解散)	1.2億円
新社会党	0.9億円
市民リーグ(96年9月解散)	0.8億円
平和市民(98年4月解散)	0.8億円

注)⇒は名称変更など ※改革クラブは上記改革クラブとは別のもの

日本共産党は、支持政党にかかわらず国民の税金が各党に配分される政

政党名	2010年配分額(参院選結果を受けての再算定試算額)	国民1人2550円で何人分に相当	2010年参院選比例代表の得票数
社民党	8億3100万円	3322万人	224万票
公明党	23億4100万円	9336万人	763万票
自民党	102億6300万円	4105万人	1407万票
民主党	170億9500万円	6838万人	1845万票

得票の2〜3倍も多い国民からの政党助成金を受け取り

政党助成金 支持票こえる配分

いままそ撤廃を

日本共産党の2009年政治資金収支報告の概要

項目	金額(万円)	前年比(%)	構成比(%)
(1) 収入			
党費	8億9576	97.8	3.6
寄付	4億8074	98.4	2.0
機関紙誌・書籍等	214億1135	99.3	87.0
納付金・借入金、その他	18億3288	91.7	7.4
収入合計	246億2073	98.6	100.0
(2) 支出			
経常経費	39億3126	93.5	15.6
機関紙誌・宣伝等事業費	160億8270	100.1	63.8
その他の政治活動費	52億1015	96.6	20.7
支出合計	252億2411	100.9	100.0
収支差引(1)-(2)	▲6億337		
前年からの繰越金	22億2880		
翌年への繰越金	16億2523		

草の根活動と結んだ浄財

日本共産党は、カネの力で政治をゆがめる企業・団体献金も、国の税金を分け取りする憲法違反の政党助成金も受け取らず、党自らの努力による党費、機関紙誌などの事業活動の収入、個人からの寄付など、党員と支持者、国民から寄せられる浄財のみで活動資金をまかなっています。このこと

は、他の政党とまったく異なるわが党の財政の清潔さ、健全さをしめすものです。

また、機関紙誌活動を基本とした事業活動が、収入の87.0%、支出の83.8%と大半を占めています。わが党が「しんぶん赤旗」を中心に、国民と草の根で結びついて活



お申し込みは黒田みちまで (TEL&FAX 790-3055)